

「エコプロダクツ」開催

最先端の環境技術を展示

(株)産業管理協会、日本経済新聞社主催による日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」が、9日から11までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト(東1~6ホール)で開催された。後援は経済産業省、環境省、文部科学省ほか。

同展は、企業や団体、NPO・NGO、行政、自治体、大学・研究機関から一般生活者など様々な立場の人たちが、エコプロダクツや環境活動に

触れ、それぞれのスタイルでエコライフの実現を考えるもので、今年で12回目。今年のテーマは「グリーン×グリーン革命!いのちをつなぐ力を世界へ」。持続可能な社会の実現に向け、企業や団体などが集結、深刻化する地球温暖化、生物多

様性保全の問題など重要な課題として取りあげ、最先端のエコプロダクツや環境技術を紹介した。今回の展示規模は、昨年を上回る745社・団体(1762小間)で、



ベルアドワイズ、ジェスコのブース



昨年を上回る18万3410人が来場した。

主な業界関連の出展社では、IJP分野でルキオがUV硬化インク専用プリントメディアとして、PE(ポリエチレン)素材による「フアブレンPE」を出展するとともに、リサイクルしやすいボード、LED超薄型面発光システム「FLS」を提案。エプソン販売はパッケージデザインやカンパ用に適した「MAXART PXI

W8000」を展示。キヤノンはフォトシヨップからのダイレクト印刷を可能にするプラケインソ

フトを搭載した「imagePROGRAF iPF8300」を出展。リンテックはプラスチック成型品同質ラベル素材「カイナス」シリーズ並びに再剥離ラベルを出品。ベルアドワイズは環境対応型スチレンボード「エコノラック」の各種事例を展示。ムラヤマは特殊ポリウレタン樹脂による環境対応型製品「フツ・ラッシュ」を提案した。

「エコノラック」が案内パネルに採用

ベルアドワイズ

(株)ベルアドワイズ(本社名古屋、小森弘道社長)の環境対応型スチレンボード「エコノラック」が、会場内のフー



の小間番号パネル及び共有スペースの案内パネルのほか、エコマーク商品を展示するブースの掲示パネルなど約760枚に採用された。

「エコノラック」は、ポリスチレンを発泡させてきた板状のエコパネル。再生プラスチックを60%以上使用し、製造工程におけるCO₂排出量を削減することで、粘着・紙貼スチレンボードとしてエコマークを取得している。



「エコノラック」が使用された小間案内パネル

イテックはLED照明システム「ライズ・アイ・コア」に、直管形LEDランプシステムを提案。パナソニック電工は太陽電池とリチウムイオン電池を一体化させたLED照明「リチウムイオンソーラ

ー街路灯」を出展。三菱電機グループは直管形LEDランプシステム訴求。ジェスコはLED照明「スマートシャンデリア」とともに、「TERI TERASU導光板」LEDバーを出展。早水電機はドットパターン方式のLED導光板「ECO Light」を展示した。

このほか、三菱ガス化学/三菱エンジニアリングは植物由来の原料を使用した高耐熱ポリアミド樹脂「LEXTER」、川崎市は製品・技術のCO₂削減をライフサイクル全体で評価する「低CO₂川崎パイロットブランド」をそれぞれ提案した。